余市町地域公共交通利便増進実施計画（概要）

国土交通省

・余市町では、市内を一円する余市循環線が運行しているが、郊外部において交通空白地が発生しているのでデマンド交通を新規導入し、地域内の移動円滑化を目指す。
・北海道新幹線が札幌まで延伸された場合は、長万部小樽間についてバス路線転換が決定している。その準備として、余市駅と余市駅前十字街に分散している公共交通の集約化を行う。
・上記に加え、誰もが快適に過ごせるバス待ち環境を整備し、高齢化社会に対応した利用環境の構築とサービス向上を図る。

事業の内容

事業Ⅰ　市街地における町内公共交通の見直し
- ●競合解消と運行頻度の適正化
  - ・地域間幹線系統との重複区間の削減
  - ・路線の見直しによる距離短縮

事業Ⅱ　郊外部有償運送導入
- ●予約型の区域運行（デマンド交通）の運行による交通不便地域の解消（イ）
  - ・令和６年度中に半年程実証運行を行い、集積したデータを活用
  - ・余市循環線との接続による市街地の回遊性の確保

事業Ⅲ　バス待ち環境、交通結節点機能の強化　実施時期未定
- ・バス待ち空間の整備による快適性の確保
- ・デジタルサイネージの設置によるバスロケーションシステムの利活用

事業の効果

事業Ⅰ
- ・路線見直しにより1.7km短縮し費用削減
- ・費用削減による収支改善（赤字額100万円程度減少）
- ・収支率向上（37.1%→38%）

事業Ⅱ
- ・アクセス性向上、交通空白解消
- ・実証と比較し、収支率向上（4.3%→10.2%）

作成自治体	余市町
事業実施区域	余市町
事業実施予定期間	令和７年１１月～令和１２年３月
実施事業者	北海道中央バス㈱・小樽つばめ交通㈱・余市町